

キーワード： 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立 亀田 中学校

1 課題

めあても持ち、学びとる生徒の育成
～学力向上のための手だてと指導のあり方～

2 課題解決の具体策

学習スキルの指導
学習不振生徒の指導
授業評価の取り組み

3 取組の概要

本校では、「めあてを持ち、学び取る生徒の育成」を研究主題とし、上記2の～の3本柱について、各教科部会を中心に研究を進めている。全教科での授業評価、全職員による授業公開を通して授業改善に取り組み、それらの実践・課題を研究部が集約し、全職員へ還元するとともに、特別活動（学級活動）との関連を図りながら生徒の学力の向上を目指している。

指導者側のスキルの向上とともに生徒の「学習のスキル」の指導を推進している。具体的には、「勉強法のヒント」（全学年・全教）を改訂し、4月当初に全生徒へ配布、学級・教科にて活用している。また、研究部が適当な時期を見計らい、「学問のすすめ」を発行し、スキルの向上に取り組んでいる。

学習への集中力や意欲を高めるために、基礎基本の徹底と授業のめあての明確化を図っている。また、学級担任の視点から「学習不振生徒の学習支援」を行っている。具体的には、教科として「スモールステップの手法の活用」「プレテストの導入」、学級担任として「家庭学習ノート」「日記」「学習計画表」を通しての相談活動等を行っている。

授業評価の結果を通して授業改善を行っている。評価の低い項目を検討し、「グループ学習」「ワークシートの活用」「自己表現活動」「自己評価」等を取り入れた授業を行っている。

4 成果と課題

校内研究のテーマを「学力向上」として今年度で3年目を迎えている。授業に真剣に取り組む、家庭学習に取り組む生徒が増えているとともに、学力調査の結果等からも学力の向上を見取ることができる。

上記3を継続していく中で、形式的・惰性的とならない取り組みが必要である。生徒指導の機能を生かした教育活動を推進する中で、学習に打ち込む基礎を固め、授業の充実と家庭学習の啓蒙に力を入れていかなければならない。

国語の学習のしかた

☆教室では……

・授業に積極的に取り組もう。

- * 先生の話をよく聞こう。
(ぼーっとしたり、ノートに集中しすぎないように。)
(答えを待っていてもだめだよ。自分で探そう。)
- * 答えは必ず本文にある！
(自分の力で本文をよく読み、答えを見つけ出そう。)
(常に、教科書を黙読しながら、授業を受けよう。)
- * 忘れ物をしない
(授業内容がわからなくなります)

・一年間の見通しを持ちながら学習しよう。

- * 教科書の巻頭に、年間の学習計画表があります。それを見て
どンドン予習を進めよう。
- * 今学習している作品が、説明文・小説文・詩などの
どのジャンルに当てはまるのか、考えて学習しよう。

・教材の使い方を工夫しよう。

- * ノートは2冊用意しましょう。(漢字用・授業用)
- * 国語辞典・漢和辞典を用意しましょう。
- * ワークはどンドン解いて、すすめていきましょう。

ノート作りの一例

①漢字の練習
②言葉の意味
③先生が授業で言った大事なこと

ノートの下に線を引き活用する。

黒板の内容を書き写そう

第一日理
(黒板人物)
……
……

※ 黒板人物の性格は、テストにでる！

サンタマリア
……
……

<家庭学習のすすめかた>

☆予習

- ・詩や小説などの新しい教材に入る前に、何度も読みましょう。
- ・漢字練習、語句の意味調べは必ず行いましょう。
(辞典を用意して自分で調べよう)
- ・ワークを使って予習をしましょう。

☆復習

- ・その日の授業の部分は、その日のうちに何度も読み直そう。
- ・ノートを見直ししながら、授業を思い出そう。
- ・ワークの問題を解いて、じっくり理解を深めよう。

☆漢字練習

- ・正しい漢字をよく見て、書いてみる。
- ・間違いがないか確認してから、何度も書いて練習する。
(漢字は努力と練習あるのみ！！)

☆その他

- ・新聞や本など、とにかく文章を毎日読もう。

<テスト勉強のすすめかた>

- ・やっぱり教科書を何度も読みましょう。
(答えは本文の中にある！！)
- ・ノートを見直ししながら、授業を思い出そう。
- ・ワークの問題をやり直したりしてみよう。
- ・漢字はとにかく努力と練習あるのみ。
- ・暗記も必要。

学問のすすめ



No.6 豊田中学校研究部
平成21年6月19日

期末テスト6日前となりました。テスト対策は進んでいますか、「まだ、ちょっと」という人は週末が勝負です。今何を勉強するかは、結果を左右する大きな分かれ目です。

【テスト前6日間の学習】

1. 23日までに、範囲すべてを

昨日まで、よいペースで学習してきた人は、2日前となる23日(火)までに、テスト範囲の学習をひととおりまとめましょう。ここで油断せず、完成度を高めるのです。
「いや、実はさぼってしまって…」という人！ あきらめたりしてはいけません。このままやらないのと、出来ることをするのは、結果が全く変わってしまいますよ！！
この4日間、5時間ずつ、計20時間の学習を達成してごらん。かなり追いつくはず。

2. 「わかる」で満足せず、「できる」ようになるまで

「できる」とは、ただ「方程式を知っている」とか「英語の文が読める」で終わるのではなく、「正確に計算できたり(英文が書けたり)すること」を言います。習ってきたことを自分一人で、答えを見ないでも「できる」レベルになった時、テスト範囲が身についたと言えるのです。「正確にできる」ためには、訓練や練習が必要です。間違えた計算を繰り返し行ったり、書けない単語や地名をもう一度覚える習慣をつけましょう。

暗記とは、体にしみこませることです。「ただ言うだけ」でも「やたら何回も時間をかけて書く」のも、うまいやり方とは言えません。手や体でリズムをとりながら、十度繰り返して言い、もう一度そらで言えたら、次の暗記にうつる。そんな、「魔して、リズムよく繰り返して、クリアする」やり方を、ぜひ身につけましょう。

3. 前日、全部マスター

24日(水)。5時間目が終わったら、可能な限り、早く帰宅。まずは3時から6時までの間、2教科程度をまとめ学習しましょう。時間割通りに進むと、わかりやすいですね。仕上がっていない分野や、不安な部分は、ここで先べきしましょう。
食後、残り教科の仕上げ練習にかかります。試験範囲の教科書をスラスラ読み、覚えてしまうのが理想。三年生なら平方根や多項式・因数分解・確率の問題を確認しましょう。国語は余裕があれば、漢字・教科書読み程度。当日のコンディションが大切な教科ですから、寝不足になるのはむしろ逆効果ですよ。

25日(木)は、素早く帰宅！ 終わった教科の答え合わせをせず、残り五教科の仕上げに専念しましょう。テレビ・ゲーム・メールに逃避してしまうと、時間がなくなりますよ！ この日しかできないことを優先しましょう。

学問のすすめ



No.8 豊田中学校研究部
平成21年9月16日

中間テスト16日前となりました。時間のある人は、さっそくテスト勉強を始めましょう。学校祭で忙しい人も、五連休を活用してテスト対策を進めましょう。

【音読で力をつける】

中2の時、私の友人が英語の先生に質問した。
「先生、先生はいつも、『教科書をよく読め』とおっしゃいますが、何回くらい読んだら、『よく読んだ』ことになるんですか？」
「んー、そつだなあ、最低でも20回だな。」
「えっ！ そんなに…」
友人は先生の回答に絶句していた。
それをそばで聞いていた私は、ふと、「じゃあ、本当に20回読んでみよう」という気になり、英語の教科書を20回読んだ。すると驚くことに、教科書のかんりの部分をひとりで覚えてしまい、文の出だしを聞けば、最後までひとりで英文が浮かんでくるようになったのだ！
それ以来、英語のテストでは、かなり苦勞が減った。問題はだいたい教科書のどおりだから、()を埋めたり選択肢から正解を選ぶ問題では、迷うことが一切なくなった。答えに悩む問題はほとんどなくなり、気持ちよくスラスラと解けるようになったのだ。
やがて私はこの「20読学習法」を社会・理科・国語でも応用するようになり、ずいぶん効果を上げることができた。「勉強法がわからない」という人は、ぜひためてほしい。
「教科書を20回読めば、中身はひとりでわかってくる」のだ。

テストまで16日ある今なら、テスト勉強で4教科を20回読むこともできる。でも、ふだんから「予習で一回、復習で三回」教科書を読む習慣もつけてほしいものだ。

国語が苦手な人ほど、この勉強法をやがらうと予想がつく。でも、考えてみてごらん。いやだからと言ってそのまま読まなければ、いつまでも「読めない=わからない」。時間がかかってもいいから、勇気を持って読もう。わからない言葉は友達・先生・親に聞こう。(聞かれたら、いやがらずに答えてあげてくださいね)0回と一回では、かなり違う。3回、5回と読めば読むほど、力がつく。根気を持って読もう。

「何回も読むと、飽きる」という人は、やり方に変化を持たせてみよう。たとえば、

- 1回目 普通に読む
 - 2回目 意味を考えて、ゆっくり読む
 - 3回目 意味を考えず、ロボットのよう機械的に読んでいく
 - 4回目 早口で読む 1ページ息継ぎなしで読む など。
- 教科書をスラスラ読めたら、相当力がつくことは間違いない。